



# 議会だより 忠岡

第1号

平成30年8月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎ 0725-22-1122(代)



森 政雄  
(無所属)

高迫千代司  
(共産)

和田善臣  
(呈祥)

藤田 茂  
(無所属)

三宅良矢  
(無所属)

河野隆子  
(共産)

是枝綾子  
(共産)

前田長市  
(公明)

北村 孝  
(公明)

前田 弘  
(呈祥)

杉原健士  
(呈祥)

次回の議会日程 9月5日(水)10時より(予定)

## もくじ

議長あいさつ・議会の役割	2ページ
議会は何をするの？	3ページ
一般質問（三宅良矢・和田善臣）	4ページ
一般質問（北村孝・高迫千代司）	5ページ
一般質問（河野隆子・是枝綾子）	6ページ
議員それぞれの審議状況一覧	7ページ
視察報告・議会お知らせ・編集後記	8ページ

## 町民と議会をむすぶ架け橋に

議長 前田長市



平素より、忠岡町議会へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

私たちは、開かれた議会を目指し、今年5月の臨時議会において広報委員会を設置し、議会だより「忠岡」を発刊することにしました。

今後は、議会だより「忠岡」を通じて、住民の皆様により一層、議会の情報をわかりやすくお届けします。

私たち議員一同は、住民の皆様の意見を元に、忠岡町の発展と安全安心なまちづくりをめざし、全力で職務に励んでまいりますので、皆様の更なるご支援ご協力をお願い致します。

結びに、議会だより「忠岡」の紙面が町民の皆様との架け橋となり、町議会の活動に対して関心をもっていただき、より身近に感じていただけるよう創意工夫を重ねていくことを申し添えて、発刊のご挨拶とさせていただきます。

## 総務事業常任委員会（定数6人）

委員長	北村 孝
副委員長	三宅 良矢
委員	杉原 健士 前田 長市 是枝 綾子 高迫 千代司

所管：町長公室、住民部、会計課、消防本部、産業まちづくり部に関する事項

他の委員会の所管に属さない事項

## 福祉文教常任委員会（定数6人）

委員長	河野 隆子
副委員長	和田 善臣
委員	前田 弘 前田 長市 藤田 茂 森 政雄

所管：健康福祉部、教育委員会に関する事項

# そもそも 議会って、何だろう？



みなさんは、「議会って何だろう？」と考えたことがありますか？

私たちの住んでいる忠岡町を住みやすいまちにするためには、町民

みんなで話し合って決めるのが一番良いのですが、町民みんなが集まって話し合いをすることは実際にはできません。

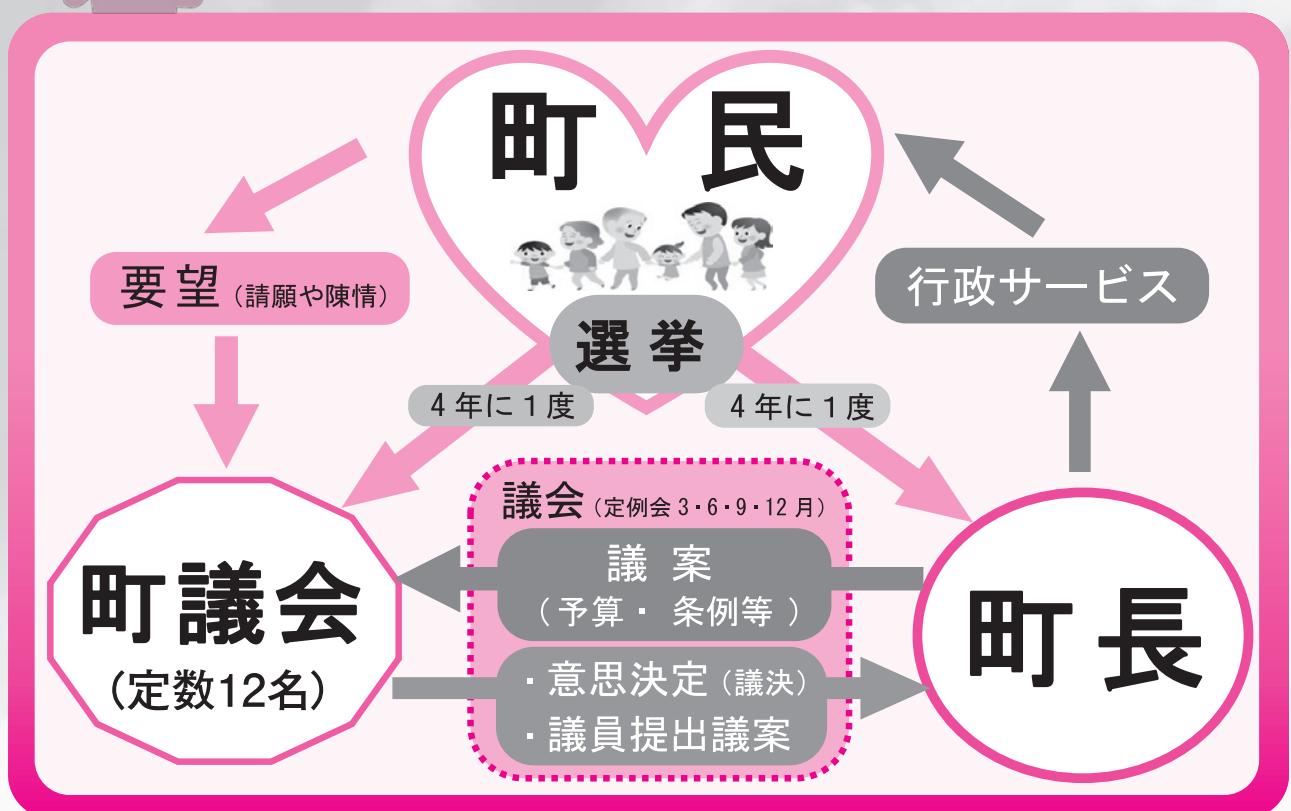
そこで町民が自分たちの代表を選挙で選び、選ばれた町民の代表が町議会議員です。

町議会は、町民の代表である議員が集まって、町民の声を町に届け、町に対してして欲しいことや、町がおこなっていることが適切かどうか話し合い、必要なお金の使い方や町のルールなどを話し合って決めるところです。また、議員から住みやすい町にするための様々な提案をすることもできます。一方、町議会で決まった事を進めていくのが町長です。



町長と議会はそれが独立した対等な関係にあり、町議会は町長の提案を応援したり、時には反対したりしながら、町民にとって住みやすい町づくりをめざして頑張っています。

そういうことだったのね！！





## 三宅 良矢 議員

**問** 最新技術を老朽化対策へ積極的に導入すべき

**答** 調査を開始していく

**問** 1年で10億円以上が必要な公共事業費を削減するため最新技術導入を企業提案してもらえる『総合評価方式』へと入札方法に変えるべき。また生産性向上を促進すべく企業支援を拡充すべき。

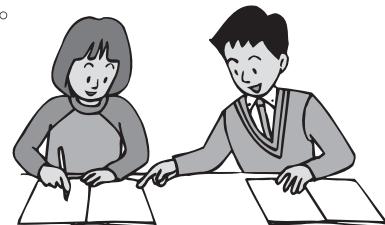
**答** 導入自治体は増えているので調査を始めていく。企業支援拡充は国制度を基本に行い、町単独は今すぐ困難だが検討していく。

**問** 学力底上げにタブレット式人工学習機器（A i）の導入をすべき

**答** 導入する場面があれば進めていく

**問** タブレット式学習機器をあすなろ未来塾に導入すれば何倍もの子どもに同じ予算で全教科を学ぶ機会を保障できる。学力を上げる事は貧困対策でもあるので積極的に導入すべき。

**答** 学力は大阪府平均に比べても厳しい状況で課題も多い。最新の学習教材は一つの手立てとして導入する場面があれば行っていく。



## 和田 善臣 議員

**問** 生涯学習の取り組みの再検討を

**答** 伝統文化も視野に入れ町民が満足できるように取り組む

**問** 日本の伝統文化は人の生活と共に継承されてきた。当町では弱体化が垣間見られる。ITの分野は世界を席巻している今の時代こそ心を豊かにする伝統文化を守られよ。

**答** 利用者のニーズを把握し参加者が満足できる講座に取り組む。また先人より受け継ぎ次世代に継承すべき伝統文化的な講座の開催も検討する。

**問** 町民の健康維持に具体的な対策を

**答** 健康寿命が延びるようにシステム構築を進めていく

**問** 高齢化社会の中、高齢者の健康は極めて重要。一部地域で開催のラジオ体操は小さな町忠岡に馴染む。予防医学の見地からこの輪を社協等と協働で広められよ。

**答** 高齢者の健康寿命の延伸に向けて高齢者が元気に暮らしていくシステムの構築を目指す。昨年スタートした社協の各地区のサロン活動に力を傾注していきたい。





## 北村 孝 議員

**問** 認知症対策について

**答** 認知症初期集中チームを中心に支援を行う

**問** 認知症患者の社会参加を促進する体制づくりを急ぐべき。

**答** 認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを多数養成、地域包括支援センター内に認知症初期集中支援チームを設置し、地域ケア会議も開始しておりご家族からの相談支援を現在行っている。地域で暮らしていくけるシステムづくりを構築していく。

**問** 駐車場の利用料について

**答** 全体的な整合性をもって検討していく

**問** スポーツセンター利用者同様に無料にすべきでは。

**答** 同様に取り扱うこととした場合、現在の全庁的な部分での取り扱いの整合性も検討する必要があり、近隣の同様の施設の状況等を調査研究し、担当課とも協議、検討して参りたい。



## 是枝 綾子 議員

**問** ゴミ焼却炉の修理費は委託業者の負担のはず

**答** 調べさせていただく

**問** 来年3月でゴミ焼却炉の運転管理委託の10年契約が終わる。悪い個所は委託事業者の負担で修理すべきところを、忠岡町が延命化工事として7億6900万円もの支出をしようとしている。おかしいではないか？延命化工事計画はいったん中止すべき。

**答** 調べさせていただきます。

**問** こども図書館の設置を

**答** 「計画」策定委員会で検討する

**問** 忠岡町の小中学生の不読率は全国・府平均よりも高い。子どもの読書活動の拠点が必要。こども図書館の設置を。

**答** 「子どもの読書活動推進計画」策定委員会の中で、検討したい。





## 河野 隆子 議員

問 忠岡保育所の園庭を元の広さに  
答 工事が始まっており難しい

問 子ども園化の工事で園庭に防護壁が建てられ、子どもたちの遊ぶ園庭が狭くなった。子ども第一で考えて、元の園庭の広さを確保されよ。

答 子どもたちの保育環境の変化が最小限となるよう取り組む。



## 高迫 千代司 議員

問 就学援助に影響が出ないように  
答 影響がないようにする

問 国が10月から生活保護基準を下げる。子育て支援に大事な就学援助金を受けられない人が出る。新規の方も含め影響が出ないようにされよ。

答 どちらも影響が出ないようにする。

問 特定の価値観を押し付ける道徳の教科化は問題

答 特定の価値観を押し付けるものではない

問 市民道徳は大切であるが「特別の教科・道徳」で、戦前の修身のように愛国心が押し付けられる教育が行われるのではないか。

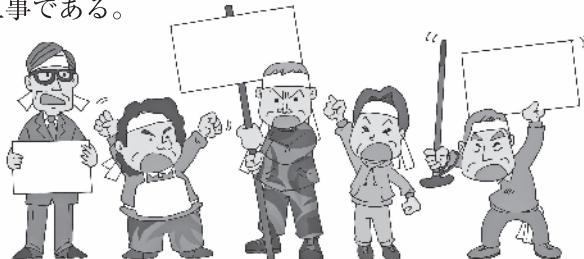
答 道徳が教科化された背景には深刻ないじめの対応があると考えている。

問 7億円もの延命工事は中止されよ

答 必要不可欠な工事である

問 同じ型式のゴミ焼却炉を、岬町は32年、熊取町は26年稼働しているが、10年目の忠岡町が7億6900万円もかけた延命化工事を計画している。岬町も熊取町も延命化工事はしていない。工事は中止して、住民のくらしの予算にまわされよ。

答 10年たつと主要部品が劣化してくる。必要な延命工事である。



# 審議結果一覧

全議員が賛成一致の件
請負契約締結（スポーツセンター耐震可動屋根耐震改修工事）
専決処分の承認（町税条例の一部改正）
公平委員の選任
学童保育の設備運営の基準を定める条例の一部改正
家庭的保育の設備運営の基準を定める条例の一部改正
重度障がい者及びひとり親家庭の医療費助成の一部改正
介護保険条例の一部改正
指定地域密着型サービスの基準を定める条例の一部改正
一般会計補正予算
介護保険補正予算
水道事業補正予算
公契約条例の制定を求める決議
地域経済の再生をめざし最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書

賛成と反対が分かれた件	結果	杉原	前田(弘)	北村	前田(長)	是枝	河野	三宅	藤田	和田	高迫	森
労働者の健康を奪う「働き方」法案の撤回を求める意見書	否決	×	×	×	議	○	○	×	×	×	○	×
<b>反対意見</b> 罰則や上限規制があり正社員と非正規の格差を解消するために必要。												
<b>賛成意見</b> 非正規の格差が解消される保証はない。過労死が自己責任にされる。												
「要介護・要支援に対する維持期リハの廃止撤回」等を求める意見書	否決	×	×	×	議	○	○	×	×	×	○	×
<b>反対意見</b> 医師主導の方針内容であり医療と介護の連携時代と逆行している。												
<b>賛成意見</b> 必要な医療リハビリが受けられなくなる、介護ではやっている所は少ない。												

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし

# 視察報告

## 福祉文教常任委員会 視察報告(岡山県奈義町)

さる4月25日、福祉文教常任委員会は、合計特殊出生率が2.81の全国トップの岡山県奈義町を視察しました。忠岡町子育て支援課長と職員が随行しました。

人口6000人の鉄道も通らない山あいの町。平成24年4月に「奈義町子育て応援宣言」をされ、町独自の子育て支援策を実施。主な子育て支援策は、出産祝い金、保育料助成、在宅育児支援手当、ひとり親家庭への助成、高校への通学費助成、チャイルドホームでの子育て相談、高校生までの医療費助成など切れ目のない支援をされていました。

また、若者向け住宅を新築するなど、若者の定住にも力を入れておられました。

苦しい財政の中でも、町独自の子育て支援策の予算を確保されていますが、人口減少は続いており、今後の課題の様です。今回の視察は大

変勉強になり、今後の議会活動にいかしていきたいと思います。

(福祉文教常任委員長)



奈義町チャイルドホームで  
職員からの説明を聞く参加者(4月25日)

## 編集後記



暑中お見舞い申し上げます。  
町民皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。忠岡町議会もこの度「議会だより創刊号」を発行できる運びとなりました。私どもの考え方や、日々の活動を「わかりやすく」をモットーに作成しました。議会を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

初めてのことでしたら多い点が多くあると存じますが、これからもよろしくお付き合い下さいますようお願い致します。

忠岡町議会 広報委員会

日本一面積の小さな町、忠岡だからできることがある。

みんなでそれをメッケよう



## 9月議会のご案内(平成30年第3回定例会)

～お気軽に役場6階(本会議場)までお越し下さい～

9月5日(水) 10時から(予定)

各議員の一般質問および議案の提案と審議

※正面玄関一階ロビーでもテレビ中継しています。

## 広報委員会メンバー



三宅 高迫 是枝 北村 和田